

**第14回全日本企業対抗ゴルフトーナメント**  
**大会ルール**  
**～全予選・全地区決勝・全国決勝大会共通～**

1. ゴルフ規則  
日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則2013及び大会ローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定  
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。
3. **使用球についての規格及び規則**  
「公認球リストの条件・規則付I(C)1b」公認球リストを採用する。  
「公認球リストの条件・規則付I(C)1c」ワンボール条件は適用しない。
4. **キャディとカート**  
各競技者はラウンド中に乗用カートへ乗車することができる。  
(乗用カートを設置していないコースは除く。)  
大会運営事務局とゴルフ場によって指定されたキャディ以外は使用できない。  
違反があった各ホールに対し2打。ただし、1ラウンドにつき最高4打まで  
(違反のあった最初の2ホールに各2打の罰)。

**4-2 セルフプレーの会場**

キャディ付でない場合、カートのリモコンは、組合せ表の

1番の選手は1番目のホールから5番目のホール カートのリモコンを操作する。

3番の選手は6番目のホールから9番目のホール カートのリモコンを操作する。

2番の選手は10番目のホールから13番目のホール カートのリモコンを操作する。

4番の選手は14番目のホールから18番目のホール カートのリモコンを操作する。

但し、お互い了解の上各チーム9ホールずつカートのリモコンを操作する場合は  
カートのリモコンを操作する順番をじゃんけんで決めることができる。

5. ホールとホールの間での練習禁止  
ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。  
この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。  
(前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く)

6. 険悪な気象条件・日没などのため競技が短縮競技となった場合の順位決定

■全チームが9ホールズを消化している場合→競技成立

■全チームが9ホールズを消化していない場合→競技不成立

本競技が短縮競技として成立した場合、下記の順でその順位を決定する。

【第1優先】全出場選手4名の9ホールズ合計スコア

(3名出場の場合は同順位の中で最下位となる)

【第2優先】チーム内で第1に少ない打数の選手のスコア

【第3優先】チーム内で第2に少ない打数の選手のスコア

【第5優先】チーム内で第3に少ない打数の選手のスコア

【第4優先】チーム内で第1に少ない打数の選手の「カウントバック方式」によって決定する。

※ 短縮競技でもエントリーフィーやプレーフィーの減額は有りませんので  
予めご了承くださいませ。

7. アドバイス

プレーヤーは同じチーム内のパートナー及びキャディからアドバイスを受けることができる。  
なお他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合には  
JGAゴルフ規則第8条によりそのホール2罰打を付加する。

8. 第2の球をプレーする場合の処置

ルールに疑問のある場合、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について  
問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。

第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを  
採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。

どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前に  
その事実を報告しなければならない。

※ 第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員会  
の裁定をおおぐこと。

9. 空き時間の練習について

ハーフ終了時の空き時間において、練習グリーンでのパッティング練習は  
行っても構わない。

10. メンバー変更について

出場メンバーは最初の予選出場時のメンバーから大会全体を通して  
2名までの変更が可能。

11. クラブに関しては、JGA付属規則Ⅱの4c(i)のペンデュラムテストプロトコル

(R&A内規)の上限を超えるスプリング効果をもつクラブヘッド(いわゆる高反発クラブ)の  
使用を禁止する。

※ 「クラブフェースの溝に関連する新しい規則」については本大会では採用しない。

## 1 2. 距離計測やホールレイアウトの確認

プレーヤーは距離計測やホールレイアウトを確認する目的でGPS式、レーザー式、音声式の距離計測器やコースナビゲーションなどを使用することができる。

※ スタート説明時など、ラウンド前にマーカの選手に機器の使用を教えてください。  
(音声で伝えるシステムの機器は同伴者のプレーの妨げ、迷惑とならないように注意してください。)

1 2 - a. 上記の機器を使用して得た情報の交換はアドバイスとはならない。

1 2 - b. 使用する際にプレーを不当に遅延してはならない。

1 2 - c. プレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件

(傾斜、高低差、風速 など)を計測する機能が付属されている距離計測器を使用してはならない。

- ・ 携帯電話、スマートホンの使用は可。但し、傾斜を測定する機能は使用不可である。
- ・ 高低差表示機能を有する機器は高低差を表示しない設定での使用は可能である。
- ・ 傾斜を測定しないで高低差を標示する距離測定器は使用可。イーグルビジョン推奨。

※ このローカルルールにおいての違反した場合下記の通りとなる。

- ・ 初回の違反 : 1 罰打
- ・ 2 回目の違反 : 2 罰打
- ・ 3 回以上の違反があった場合は競技失格とする。

## 1 3. 特設ティ、ドロップエリアの使用について

特設ティの使用は各ゴルフ場のローカルルールで定める。

## 1 4. コールオン（後続組先打たせ）方式について

使用しない。

競技委員の決定が無い場合にコールオンを使用した場合は失格となる。

## 1 5. プレーにおける規則

【JGAゴルフ規則6-7】 プレーヤーは不当に遅れることなく、委員会がプレーのペースについてのガイドラインを決めているときはそれに従ってプレーしなければならない。

なお、1ホールのプレーを終えたあと次のティーインググラウンドからプレーするまでの間もプレーを不当に遅らせてはならない。

規則6-7の違反の罰は、ストロークプレーでは 2打。その後更に同じ違反があった場合は競技失格。

### <当競技委員会のスロープレーに関するガイドライン>

スロープレーとは前の組と 15 分以上離れているのに急ぐ気配がないプレーの事を指します。あるホールで前の組と 15 分以上離れてしまって、マーシャルよりスロープレー警告が発生したが、次のホールで 15 分よりそれ以上遅れている場合はスロープレーと判断します。

また、前半 9 ホールズを前の組より 15 分以上遅れてホールアウトし、後半の 9 ホールズも前の組と 15 分以上遅れてホールアウトした組はスロープレーと判断します。

※通常、前の組との間隔は 7 分～8 分です。

## 16. タイスコア時の決勝方法

【第1優先】全出場選手4名中、打数の少ない上位3名の18ホールズ合計スコア。

【第2優先】全出場選手4名の18ホールズ合計スコア。

【第3優先】チーム内で第1に少ない打数の選手のスコア。

【第4優先】チーム内で第2に少ない打数の選手のスコア。

【第5優先】チーム内で第3に少ない打数の選手のスコア。

【第6優先】チーム内で第4に少ない打数の選手の「カウントバック方式」によって決定する。

※ それでも勝敗が決しない場合は同順位とする。

以上

平成27年2月18日

全日本企業対抗ゴルフトーナメント

競技委員会